

愛知県立農業大学校教育部農学科の教育理念

1 教育目標

本校は次の教育目標を掲げて、優れた農業後継者と農業の担い手の養成を目指す。

- (1) 革新技術を駆使できる能力を養成するため、最新の知識、技術の教育を行う。
- (2) 経営管理能力を養成するため、流通、マーケティング、国際性など幅広い知識を習得させる。
- (3) 地域農業を先導するリーダーとしての指導力を養成するため、校外学習や農家派遣研修等の経験を通して、より実践的な技術や経営方法を習得させる。

2 アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

愛知県立農業大学校は、農業の実践教育を行い、将来、愛知県の農業を担う優秀な人材を養成しています。このために、次のような資質を有する学生を求めます。

- (1) 農畜産業に高い関心と、強い学習意欲をもっている者
- (2) 自主性・積極性をもって、実習に取り組める者
- (3) 規律と協調性をもって、共同生活を送れる者
- (4) 高等学校教育課程における基礎学力を備えている者

3 ディプロマ・ポリシー（称号授与方針）

愛知県立農業大学校規則等に規定する卒業必要単位を修得し、要件を満たした学生には卒業を認定するとともに、専門士（農業専門課程）の称号を付与します。

卒業までに身に付ける資質、能力は以下のとおりです。

- (1) 農業従事者としての実践的スキルを身に付けている。
- (2) 農業経営者としての基礎的な能力を習得している。
- (3) 自ら問題を発見し、率先して解決に取り組むことができる能力を身に付けている。
- (4) 幅広い教養と協調性を備え、国内外の農業に関する知識を身に付けている。

4 教育部農学科の特色

- (1) 教育内容は主に農業経営者を目指した一般教養、専門科目の履修を行う。
- (2) 専攻別に分かれ、少数精鋭の実習を主体とした実践教育を行う。
- (3) 2年間の全寮制による共同生活を送る。
- (4) 先進農家への派遣実習を実施している。
- (5) 1人1課題を設定したプロジェクト学習に取り組んでいる。
- (6) 7日間の海外研修（ファームステイ）を実施する。

5 障がい等のある入学志願者への対応

教育部農学科での学びは実践的な農業実習が主体となります。障がいの程度によっては、大型機械の運転や家畜の飼養管理等、本校の目標に即した履修や全寮制の共同生活に沿えない場合が予測されます。このため、障がい等がある入学者は、必ずオープンキャンパスや、出願の2週間前までに事前の学校訪問を行い、学務科職員によるヒアリングを受けていただきますようお願いいたします。このことにかかる問い合わせは、学務科に連絡をしてください。

（学務科の連絡先）

TEL 0564-51-1602

FAX 0564-51-4831

E-Mail noudai@pref.aichi.lg.jp